

# 第288回触媒化学研究センターコロキウム

共催 北海道大学グローバルCOEプログラム「触媒が先導する物質科学イノベーション」

## 異分野融合技術によるキチン系バイオマスからの医薬品原料生成

長田光正助教（一関工業高等専門学校物質化学工学科）



2011年2月10日（木）16:00–17:00

創成科学研究棟5階大会議室

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

カニ殻などのキチン系バイオマスは、セルロース系に次ぐ地球上で 2 番目に多い資源でありながら、現在ほとんど利用されていない。本講演では、キチンから二糖（キトビオース）や単糖（N-アセチルグルコサミン）など医薬品として利用可能な付加価値の高い化合物を高収率・高選択的に得ることを目的とし、3 つの異分野技術、(1)超臨界水などの高温高压水中での処理、(2)メカノケミカル粉碎処理、(3)酵素による糖化処理の融合を図った研究を紹介する。

問合せ先： 触媒化学研究センター・福岡淳 ([fukuoka@cat.hokudai.ac.jp](mailto:fukuoka@cat.hokudai.ac.jp)/011-706-9140)

略歴： 2000 年東北大学工学部生物化学工学科卒業、2005 年 東北大学大学院工学研究科化学工学専攻博士課程修了（新井研究室）「超臨界水中でのバイオマスのガス化反応」、博士（工学）、2005 年 産業技術総合研究所特別研究員「バイオマス変換触媒」、2006 年 一関工業高等専門学校助教「バイオマス変換のための異分野融合技術の開発」、(2007 年～2008 年 在外研究員（ミシガン大学）「高温高压水中での有機合成」)



288th Catalysis Research Center (CRC) Colloquium

Hokkaido University Global COE Program "Catalysis as the Basis for the Innovation in Materials Science"